

国内市場における 口腔内スキャナーの 最新トレンドおよび各社機能比較 2026

昭和医科大学歯学部歯科補綴学講座



主任教授 馬場一美 (Baba Kazuyoshi)

准教授 田中晋平 (Tanaka Shinpei)

准教授 高場雅之 (Takaba Masayuki)

兼任講師 岩内洋太郎 (Iwauchi Yotaro)

助教 芦田圭介 (Ashida Keisuke)

診療の中核へ
—進化するIOS最前線—

国内市場における口腔内スキャナーの最新トレンドおよび各社機能比較2026



図1 ストローマン・ジャパンからはじめて販売されたSIRIOS(写真右), 2026年3月に軽量化された後継モデルSIRIOS X3(写真左)が販売開始された。



図3 PrimeScan 2は, 前機種であるPrimeScanから大きく変化を遂げ, ワイヤレス化を実現している。



図5 Aadva IOS 200は, 前機種であるAadva IOS 100よりスムーズな計測を可能にしている。



図7 MEDIT i900(写真右), MEDIT i900c(写真左)は, 前機種であるi700から約33%の軽量化, 操作性が向上した。



図9 RAYIOSは, 顔貌スキャナー「RAY Face」とのシームレスな連携を核とし, 低価格帯を実現した。

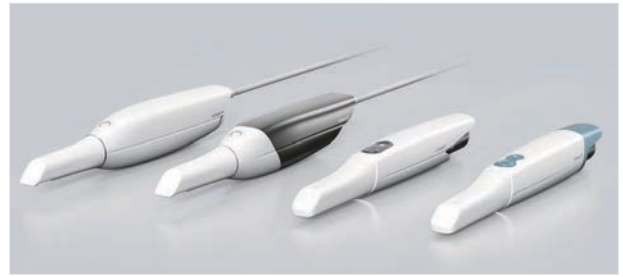


図2 左からTRIOS 3, TRIOS Core, TRIOS 5, TRIOS 6. 2026年4月にTRIOS 6は, 販売開始された。



図4 iTero Luminaは, 広範囲かつ高精度なスキャンングを可能にしている。



図6 Aoralscan Elite(写真左)/Elite wireless(写真右)は, 前機種であるAoralscan 3と比較し小型化された。



図8 神楽 Smartは, 国内最小クラスのサイズ, 軽量で低価格帯を実現した。



図10 AccuioSは, エアブローシステムが搭載されたモリタ製作所製のスキャナーである。

表1a 国内で販売中の口腔内スキャナースペック・拡張性一覧(2026年5月許認可済み)

メーカー	商品名	取り扱いメーカー	販売開始	認可		スペック		
				天然歯・矯正	インプラント	スキャン形式	スキャナー重量	
インビザライン・ジャパン	iTeroエレメント 5D ラップトップ	インビザライン・ジャパン, ジンヴィ・ジャパン, モリタ	2019年7月	○	○	連続画	470g	
	iTeroエレメント 5D プラス		2021年8月					
	iTeroエレメント 5D プラスライト		2021年7月					
	iTero Lumina / Lumina PC		2024年2月	○	○	連続画	260g	
エンビスタジャパン	IS 3700	エンビスタジャパン, ノーベル・バイオケア・ジャパン, ヨシダ, Ciメディカル	2020年9月	○	○	ビデオ	316g	
	IS 3800W		2022年11月				240g	
ジーシー	Aadva IOS 200	ジーシー	2024年7月	○	○	連続画	151g	
Shining 3D Technology Japan	Aoralscan 3	ジオメディ, Ciメディカル, ジャパंकオリティ, 朝日レントゲン工業, 4DX	2022年6月	○	○	連続画	240g	
	Aoralscan 3 wireless		2024年10月				330g	
	Aoralscan Elite		2025年7月				124g	
	Aoralscan Elite wireless		2025年7月				194g	
3 Shape Japan	TRIOS 3	モリタ, 松風, 京セラメディカル, ストローマン・ジャパン, 大信貿易, OSSTEM JAPAN, フォレスト・ワン	2015年3月	○	○	連続画	340g	
	TRIOS Core		2025年2月					
	TRIOS 5		2023年11月				299g	
	TRIOS 6		2026年4月				308g	
Deltan	神楽 KAGURA	Deltan	2023年3月	○	○	連続画	246g	
	神楽 Smart		2024年10月				138g	
デンツプライシロナ	DI Primescan	デンツプライシロナ, モリタ	2019年7月	○	○	連続画	395g	
	Primescan Connect	デンツプライシロナ, モリタ, ジーシー	2023年4月					
	Primescan 2	デンツプライシロナ, モリタ	2024年12月			2D/3D	542g	

表1b 国内で販売中の口腔内スキャナースペック・拡張性一覧(2026年5月許認可済み)

メーカー	商品名	取り扱いメーカー	販売開始	認可		スペック		
				天然歯・ 矯正	インプラント	スキャン 形式	スキャナー 重量	
カボ プランメカ ジャパン	プランメカ Emerald	カボ プランメカ ジャパン	2019年 6 月	○	○ (取得中)	連続画	235g	
	プランメカ Emerald S		2021年 7 月				229g	
ホワイトエッセンス	WE スキャン	ホワイトエッセンス	2023年 5 月	○	○	連続画	198g	
	Runyes 3 DS		2024年 7 月				210g	
MEDIT	MEDIT i700 (i700 オーラルスキャナ)	ヨシダ, サンデンタル, Ciメディカル, アイキャスト, フォレスト・ワン, トクヤマデンタル, OSSTEM JAPAN, ジンヴィ・ジャパン, RAY JAPAN	2022年 2 月	○	○	ビデオ	245g	
	MEDIT i700 ワイヤレス (i700 オーラルスキャナ)	ヨシダ, Ciメディカル, ジンヴィ・ジャパン RAY JAPAN	2023年 4 月				328g	
	MEDIT i600 (i600 オーラルスキャナ)	ヨシダ, サンデンタル, Ciメディカル, アイキャスト, フォレスト・ワン, トクヤマデンタル, OSSTEM JAPAN, ジンヴィ・ジャパン, RAY JAPAN	2023年 8 月				245g	
	MEDIT i900 (i900 オーラルスキャナ)	ヨシダ, サンデンタル, トクヤマデンタル, OSSTEM JAPAN, ジンヴィ・ジャパン, RAY JAPAN	2026年 2 月				165g	
	MEDIT i900c (i900c オーラルスキャナ)							
RAY JAPAN	RAYiOS	RAY JAPAN	2023年 4 月	○	○	連続画	280g	
ストローマン・ ジャパン	Straumann SIRIOS	ストローマン・ジャパン	2025年 1 月	○	○	連続画	245g	
	Straumann SIRIOS X 3		2026年 3 月				215g	
モリタ製作所	Accuios (アクイオス)	モリタ	2026年 5 月	○	○	連続画	344g	

Straumann SIRIOS/SIRIOS X3 を用いたモデルレスワークフロー



三好敬太 (Miyoshi Keita)

二子玉川三好デンタルクリニック(東京都)勤務

日本デジタル歯科学会専門医/ITI Study Club 世田谷 Co-director/ITI Japan 公認インプラントスペシャリスト/ITD 理事/THREEE 幹部

はじめに

Straumannは世界有数のインプラントメーカーであり、日本でもっとも認知度の高い歯科系企業の1つである。このインプラントメーカーとして名を馳せたStraumannが、総合的な口腔関連企業へと成長していくために現在もっとも力を入れているのが“Digital Dentistry”の分野である。

“Digital Dentistry”とはその名の通り、歯科治療の

デジタル化であるが、歯科治療をデジタル化する上で重要なのが、口腔内の情報をデータ化するツールである口腔内スキャナー(以下IOS)である。

本稿では、Straumannが純正のIOSとして提供している“Straumann SIRIOS/SIRIOS X3 (図1)”を用いた臨床症例を供覧し、多種多様なIOSがある中で、SIRIOSが実現するStraumannのシームレスなワークフローについて解説したい。

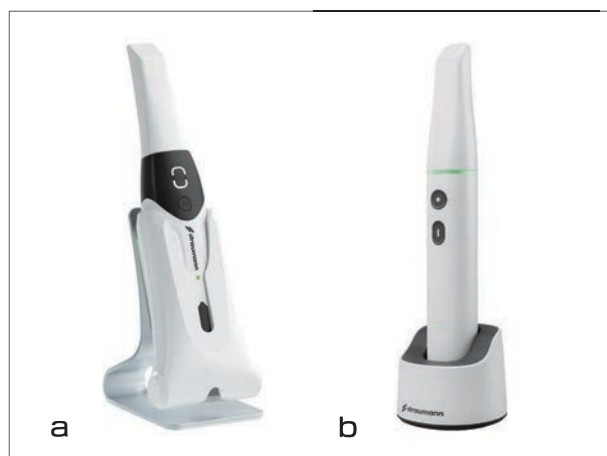


図1 a, b Straumann SIRIOS (a), Straumann SIRIOS X3 (b).

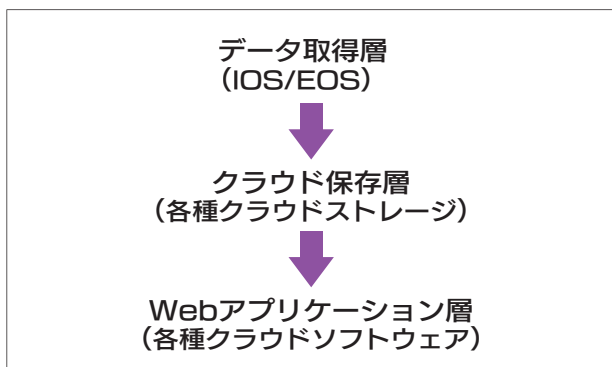


図2 クラウドデンティストリーの基本構造。各種機器によるデータ取得、クラウドにおけるデータ保存、Webアプリケーションによるデータ利用の3層構造。

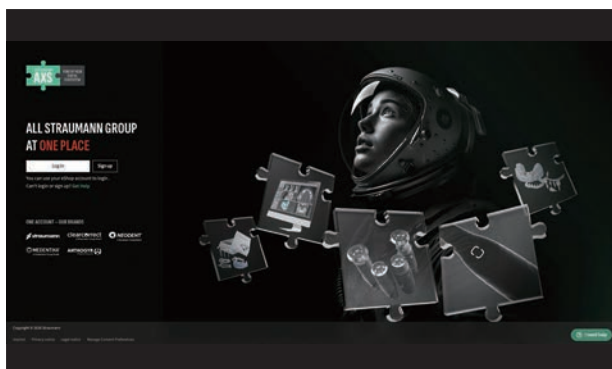


図4 Straumann AXS(ログイン画面)。



図3 クラウド保存。院内機器とそれに接続するPCからWeb上のクラウドストレージにデータを送信し、保存する。それにより、どこにいてもどのPCを用いてもデータへのアクセスが可能になる。

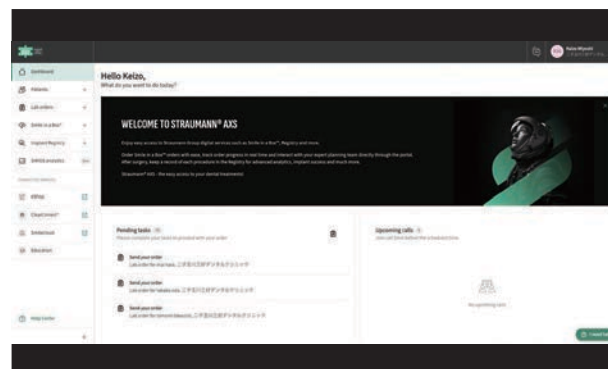


図5 Straumann AXS(ホーム画面)。患者データにアクセスすることはもちろん、Smilecloud, ClearCorrectといったWebソフトウェアにもAXSからアクセスすることができる。

Straumannが描くシームレスなワークフロー

“Digital Dentistry”という言葉はすでにわれわれにとって馴染み深い言葉となったが、これからの時代は“Cloud Dentistry”が主流となる。クラウドデンティストリーとは、「データを中心にすべてをつなぐ」仕組みと考えてもらいたい。基本構造は、①データ取得層(Input)、②クラウド保存層(Cloud Storage)、③Webアプリケーション層(Cloud Software)の3層構造となっており(図2)、これらがつながることで完全なデジタルワークフローが確立される。

◆データ取得層(院内機器)

第1層のデータ取得は院内の機器にて行う。われわれ歯科医師が取り扱う情報としては、患者カルテ、

口腔内写真、顔貌写真、CBCTデータ、口腔内情報等さまざまであるが、ここでもっとも重要な条件は、すべての情報をデジタルデータ化することである。デジタルデータ化することで初めてクラウドで保存することが可能になることは言うまでもないだろう。くり返しとなるが、第1層は、“患者情報をすべてデジタルデータとして取得する”段階である。

ここで、歯列、咬合関係等口腔内の情報をデータ化するための院内機器としてIOSが必ず必要となる。

そしてStraumannのシームレスなワークフローを最大限活用するための入り口として、このSIRIOS/SIRIOS X3は必須なアイテムであると言える。

◆クラウド保存層(クラウドサーバー)

クラウドデンティストリーの中心はこのクラウド保存層で、院内にあるPCにデータを保存するので



図11 Patient Specific Motion機能. 顎運動データを統合した三次元表示が実現することで、静的形態のみならず動的咬合の解析と患者説明を可能となる。補綴設計時にも応用できる。

図12 従来のIOS運用におけるデータ閲覧制限の概念図。メインPCのみでの表示に限定される場合、診療効率および情報共有に制約が生じることを示す。データの院内共有体制は、デジタル診療の実効性を左右する重要な要素である。

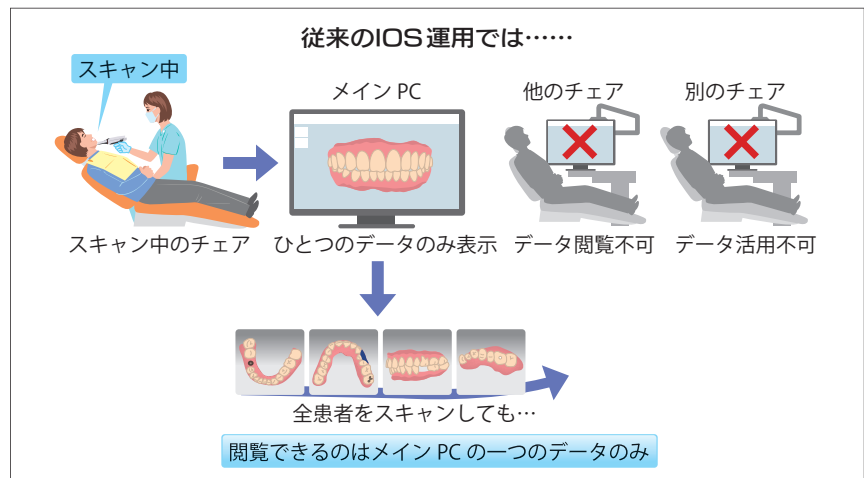
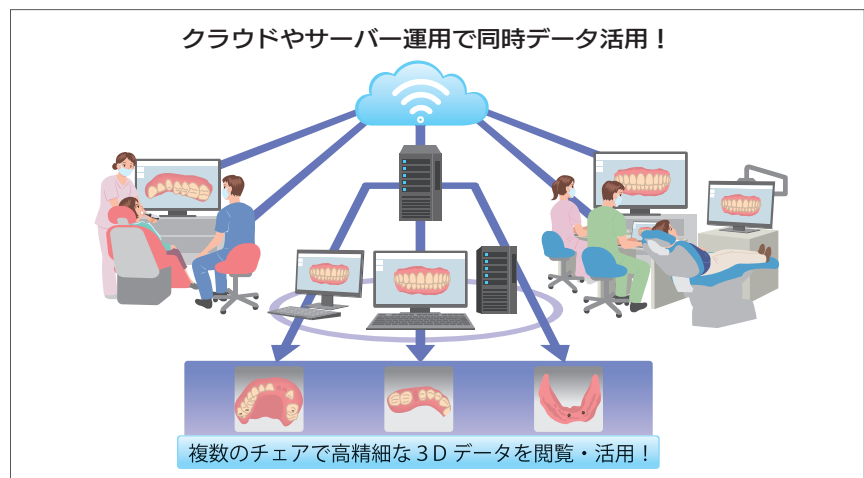


図13 複数スタッフ・複数チェアでの同時データ活用の方法の概念図。同時に全てのチェアでデータを閲覧できる。「上質な体験」を提供できる環境を構築する上で強力なインフラである。



スキャン中は他のチェアでそのデータを閲覧・活用できず、せっかく全患者をスキャンしても、閲覧できるのはメインPCに表示された1つのデータに限られていた(図12)。

しかし、現在ではすべてのデンタルチェアから同

時にデータにアクセスするシステムを構築することで劇的に効率的な運用が可能となった(図13)。その運用システムには、「クラウドシステム」と「Server-Clientシステム(TRIOSのみの方式)」の2つの方法があり、このような環境はIOSを“単なる特別な機

SureSmileアライナーのオーダー(図7)

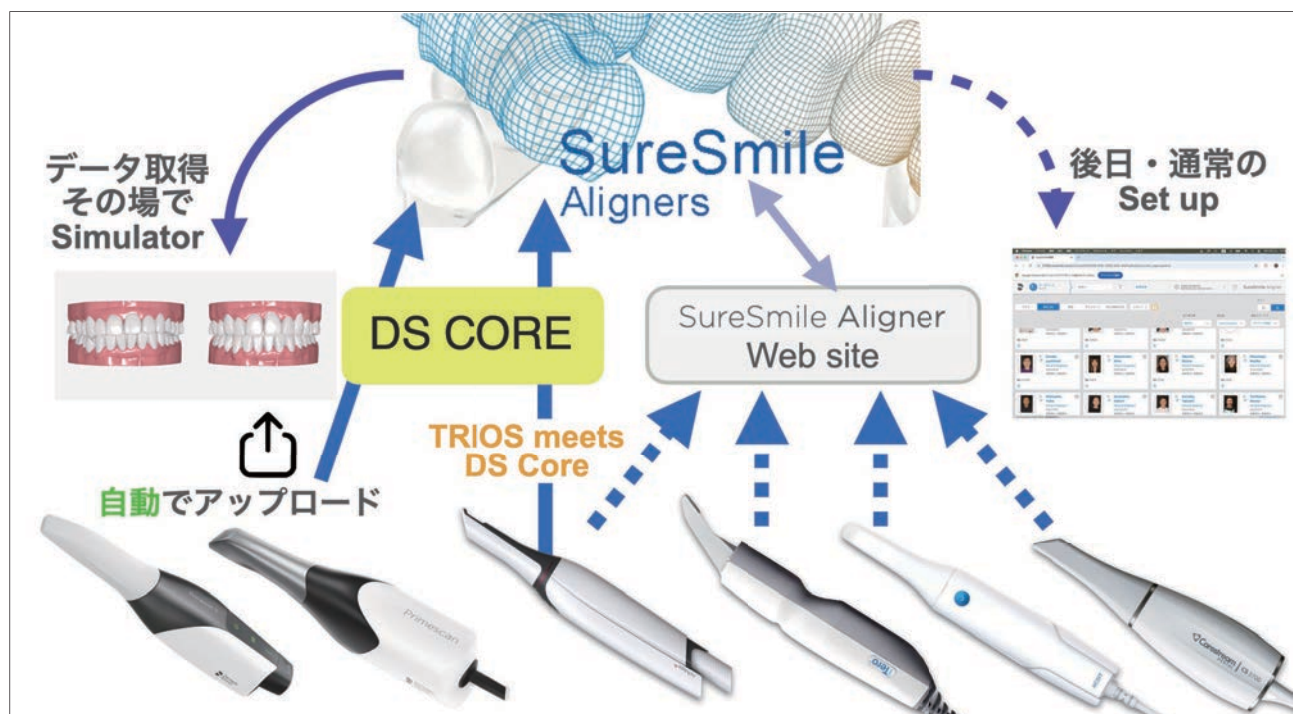


図7 従前はデータを送った後に、専用のWebサイトにアクセスする必要があったが、Primescanを使ったソリューション(またはTRIOS meets DS Core)であれば、DS Core上で直接にオーダーを行い、後日Webサイトで詳細を確認できるようになった。



図8 SureSmile Simulator. 状況スキャン(Status Scan)と治療スキャン(Treatment Scan)を用途に応じて選択でき、AIによる即時シミュレーション提示が可能である。

移行期における現実的な院内加工

CEREC on DS Coreが薬事承認されれば、クラウド上でCAD・CAMが完結し、ネット接続型Primemillを直接制御するワークフローが実現する

予定である(図10)。現時点では移行期として、DS Coreからデータをダウンロードし、Version 5.3またはinLabソフトを用いて院内加工を行う必要がある(図11)。